

令和4年3月30日
中国電力株式会社

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第1036回）
島根原子力発電所第2号機に関する指摘内容

<工事計画認可申請（補正）の対応状況について>

- 防波壁の耐震／強度計算書に使用する改良地盤物性値については、設置許可からの申送り事項のとおり、設工認段階で配合試験結果を踏まえた物性値で説明をすること。屋外重要土木構造物の有効応力解析に関する先行実績については、地下水位低下設備の設置目的の相違を踏まえたうえで、反映すること。
- 補正回数が増えることによるデメリットとして懸念される審査資料の説明性の低下やトレーサビリティの不足を防止し、品質管理に努めること。また、評価方針・考え方の説明を優先するなど、効率的な審査に努めること。

<工事計画認可申請（補正）に係る論点整理について>

- ブローアウトパネル閉止装置加振後の気密性能試験結果における通気量データのばらつきについて拡充して説明すること。
- ブローアウトパネル閉止装置の固有値解析結果等の詳細については、今後耐震計算書で説明すること。
- 非常用ガス処理系吸込口を原子炉棟空調換気系ダクトから切離したことにより、地下階（トールラス室）の負圧維持性能への影響について説明すること。
- 非常用ガス処理系吸込口の位置変更により、重大事故等時にトールラス室が100℃以上の高温となった場合においても、非常用ガス処理系の吸込口における温度が66℃以下となることを説明すること。

以上